

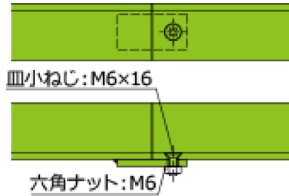
# ツリーキーパー用 アングル受枠・インターロッキングブロック用 FAR-H・FAS-H 施工要領書

2022年9月28日 管理番号：TK1-202209288A 製品分類：ツリーキーパー(樹木保護蓋)(2024/4/10修正)

第一機材株式会社

## 施工手順

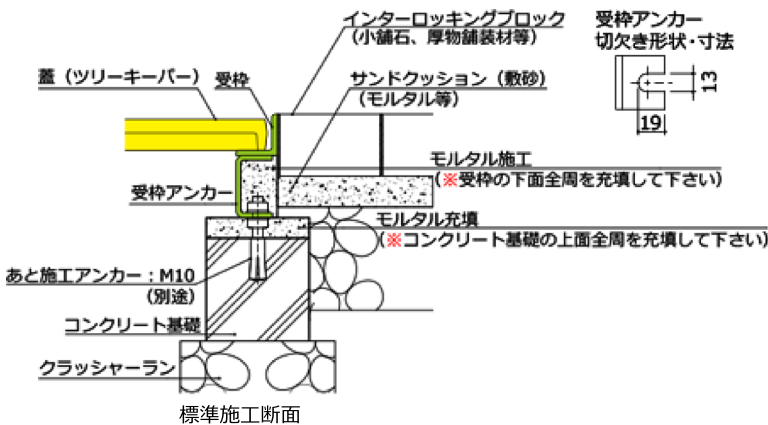
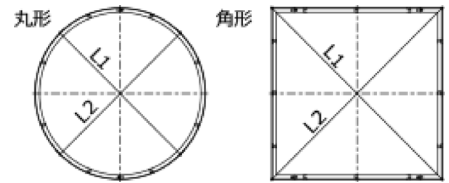
- ①コンクリート基礎を打設します。
- ②受枠分割部を付属の皿小ねじ・六角ナットで連結して、仮止めします。(先に樹木がある場合は、基礎上部に仮置きして下さい。)



皿小ねじ・六角ナット梱包数量

形状	型式	数量
丸形	FAR-9AH, FAR-10H, FAR-12H, FAR-15H	2
	FAR-18AH, FAR-18H, FAR-20H	4
角形	FAS-9H, FAS-12H, FAS-15H, FAS-18H, FAS-20H, FAS-21H FAS-154H, FAO-1812H, FAS-12FH, FAS-12CH, FAS-15CH	4
	FAN-1575H	2

- ③受枠の外径・対角寸法をコンパックス等で計測をして、歪みがないように調整します。  
(右図で、L1 = L2 となるよう調整) 受枠のレベル(高さ)を調整したうえで  
皿小ねじ・六角ナットの本締めを行います。  
(先に樹木がある場合は、外径・対角寸法はあらかじめ仮組をして計測して下さい。)



- ④受枠アンカー切欠き部に固定用のアンカー(あと施工アンカー: M10・別途)を施工します。あらかじめ打込み位置をコンクリート基礎に印を付けて、受枠をずらしてからあと施工アンカーを施工します。  
設置レベルをスペーサーなどで調整し、受枠をあと施工アンカーで固定後 受枠アンカー下部にモルタルを充填して仕上げして下さい。

- ⑤受枠をあと施工アンカーに固定後、受枠下のモルタル施工を行います。  
※注: 受枠下のモルタル施工は土壌・舗装のサンドクッション(敷砂)の吸出し防止と受枠補強の観点から必ず行って下さい。
- ⑥受枠内面の清掃を行い、蓋(ツリーキーパー)を設置して完成です。